

国有財産の有効活用による地域課題の解消等について

札幌市中央区に所在する国有地（留保財産）について、札幌市の地域課題として市内中心部の駐輪場不足があり、また、国としても維持管理費用の削減につながる有効活用を図る観点から、利用方針策定期間中における一時貸付契約を札幌市と締結したものの。

概要

財務局

留保財産の利用方針策定に一定の期間を要するため、国として財産の維持管理コストを削減しつつ、**税外収入の確保**に寄与するとともに、**地域の行政ニーズにも貢献**。

連携

札幌市

放置自転車問題の解消が図られるほか、留保財産の利活用方針策定に際し、駐輪場機能の整備を要望するための**基礎データ（必要台数等）**が得られる。

令和2年4月から札幌市と一時貸付契約締結。

駐輪場位置図



取組の成果



貸付前の国有地



一時貸付中の国有地

- 市内中心部の駐輪場不足の解消に貢献。
 - ・約1,000台が駐輪可能。
- 札幌市からの声
 - ・当該土地周辺は地域課題として放置自転車の問題があったが、国有地を駐輪場敷地として活用してからは、放置自転車のない状況を維持できている。
- 今後について
 - ・札幌市と定期的に検討会を開催し、地域の課題やニーズの把握に努める。

過疎地の小規模高校での財政教育プログラムの実施

北海道高等学校遠隔授業配信センターと連携し、これまで提供機会のなかった過疎地の小規模高校において、日本の財政に興味を持ってもらうこと等を目的に、アクティブラーニングを取り入れた出前授業である、財政教育プログラムを実施。当該連携を契機に提供機会拡大を目指す。

概要

- 北海道では、過疎地の高校を中心に、進路希望に対応した教科・科目の開設が困難な小規模高校が増加しているが、これらを一元的に支援し、オンラインで授業を行うこと等を目的とした**北海道高等学校遠隔授業配信センター（T-base）**が開設された。
- 同センターの公民科担当教諭等と連携し、これまで財政教育プログラムの提供機会がなかった**過疎地の小規模高校**において、**財政教育プログラム**を実施した。



取組の成果

- 北海道は広域で、かつ、過疎化した地域が多く存在するという特徴のある中で、**都市部の高校と同様の教育環境を得たいという地域のニーズ**に応えながら、日本の財政に興味を持ってもらう機会の拡大が図られた。
- 今後、遠隔授業が導入される学校の増加が見込まれており、同センターと引き続き連携しネットワークを活用しながら、**過疎地の小規模高校での財政教育プログラムの提供機会を拡大**したい。



豊富高校でのグループワークの様相
旭川財務事務所職員が訪問
(令和4年11月9日)



〔参考〕 T-baseでの配信の様子
(画像は英語の授業)

まちの“文化祭”への参加 ～将来を担う子どもたちに新しいカルチャーを～

北海道財務局の若手プロジェクトチームが、資産形成を学ぶコンテンツを企画。札幌市後援のイベント「カルチャーナイト」に参加し、高校生を対象とした講座を開催した。

概要

- 「カルチャーナイト」は、札幌市民の地域文化への関心を高め、子どもたちの健全な育成等につなげることを目的として、カルチャーナイト実行委員会（札幌市後援）が主催する、市民と企業と行政などがみんなで創る「まちの文化祭」イベント。
- 同イベントの趣旨に賛同した若手有志メンバーが「北斗七星PT」を結成し、**高校生を対象に、お金や将来のことを考えるきっかけとして、『YOMANABI 夜に学ぶお金の知識』を開催した。**
- 定員を上回る23名が参加し活発な議論を行うなど、若年層における金融経済に対する関心の高さがうかがえた。

お金のこと・将来のことを考える“キッカケ”づくりませんか？

■開催日時 **7/22(金)** 18:00～20:00 (受付時間 17:45まで) 参加無料

■会場 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第一合同庁舎2F講堂

■当日のスケジュール

- 資産形成講義【入門編】 30分
- 資産形成ゲーム 1時間30分

■参加募集 **20名程度** (先着順・定員になり次第締切)

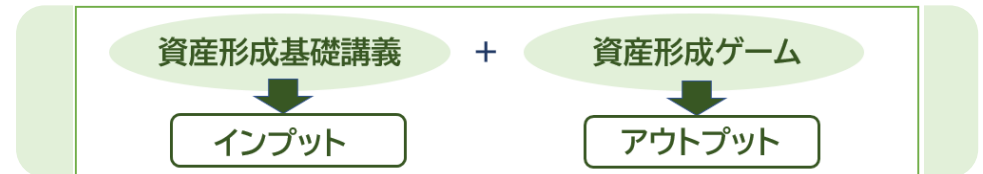
○高校生又は20歳以下の学生 /

ゲームで模擬投資！

CULTURE NIGHT 2022

取組の成果

- 講座は「知識の定着」と「主体的な学習」を目指した構成で、特に「資産形成ゲーム」において、**若手プロジェクトチームならではの参加者が楽しみながら株式取引の疑似体験ができる工夫を加えたことで、参加者から好評を得た。**



【参加者の声】 普段学べないことが経験できて、将来役に立つと思った

- 当該取組を通じて、参加した高校生の将来に役立つ金融知識の向上等に寄与するだけでなく、イベントの趣旨や参加者のニーズにも同時に応えることができた。



地域課題の解決等のための連携プラットフォーム

北海道財務局北見出張所は、管内の金融機関等が連携してオホーツク地域の課題解決・事業者支援に取り組むため「オホーツク地域における金融サービス向上委員会」を設置。

概要

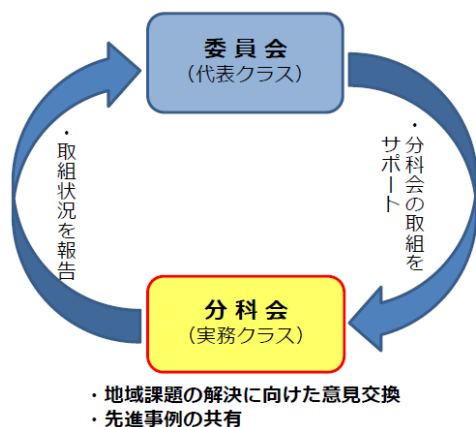
○金融仲介機能の質の向上を図り、地域課題の解決に向けて取り組んでいくため、**金融機関を中心とした体制・枠組みとして「オホーツク地域における金融サービス向上委員会」**を設置。

○令和3年2月より、地域課題の1つである「**オホーツク地域の高付加価値化**」に向けて「分科会」を設け、金融機関等の**実務担当者による議論を積み重ねてきた**。



金融サービス向上委員会 分科会での議論の様子

【委員会の体制】



取組の成果

○令和4年6月、第1回委員会を開催し、議論の結果、「**ビジネスマッチングセミナーの開催**」と「**地域商社の設立に関する研究**」に取り組むこととなった。



金融サービス向上委員会 第1回委員会

○分科会の下にプロジェクトチーム（PT）を設け、議論を加速。令和5年5月には、**参加機関が連携して初の事業者向けセミナーを開催するほか、地域商社等へのヒアリングを実施するなど商社設立の研究に取り組んでいる**。

【ビジネスマッチングセミナーPT】

・参加機関が連携し、オホーツク管内の主要産業である食関連事業者向けに、地域ブランドを活かした販路拡大に関するセミナーを開催。

【地域商社PT】

・先行事例研究として、地域商社等4先へヒアリング実施